

# 国内で新たに見つかった害虫 トマトキバガに注意！

令和3年12月  
鹿児島県病害虫防除所

トマト等の害虫であるトマトキバガが令和3年11月に熊本県、12月に宮崎県で確認されました。今後、県内でも発生する可能性があるため注意して下さい。

**トマトキバガの発生が疑われる場合は**  
鹿児島県病害虫防除所 TEL：099-245-1157にご連絡下さい。

## ◇主な寄主植物

トマト、ナス、タバコ、バレイショなどのナス科植物が主な寄主植物です。マメ科のインゲンマメも寄主植物として確認されています。

## ◇トマトにおける被害の特徴

葉では、表面を残して内部を幼虫が食害し、薄皮状になります（写真1）。  
果実では、幼虫が食入して数mm程度の穴が生じ、食害部分が腐敗します（写真2）。

【写真提供：宮崎県総合農業試験場】



写真1 幼虫の食害による被害葉



写真2 幼虫の食害による被害果

## ◇形態の特徴

成虫：体長は翅（はね）を閉じた静止時で5～7mmです。

翅は灰褐色で黒色斑が散在します（写真3）。

幼虫：終齢幼虫で約8mmに達し、体色は淡緑色～淡赤白色です。

前胸の背面後縁に狭い黒色横帯があります（写真4）。



写真3 トマトキバガの成虫  
昼間は葉の裏に隠れています（夜行性）



写真4 トマトキバガの幼虫  
右下矢印は前胸背面後縁の黒色横帯